



「私たちの約束」

小さな5つの物語



認定NPO法人スマイルオブキッズ

病気や障害のある子どもと家族の困難を、一気に解決するような魔法はどこにもありません。

けれど、私たちに出来ることはあります。

病院への一步を再び踏み出す背中に手を添えること。

家族が背負ったたくさんの荷物をひとつ持つこと。

解かなければならぬ難しい宿題を一緒に考えること。

私たちスマイルオブキッズは、子どもと家族に寄り添って、ほっとする瞬間をひとつずつ積み重ねてきました。

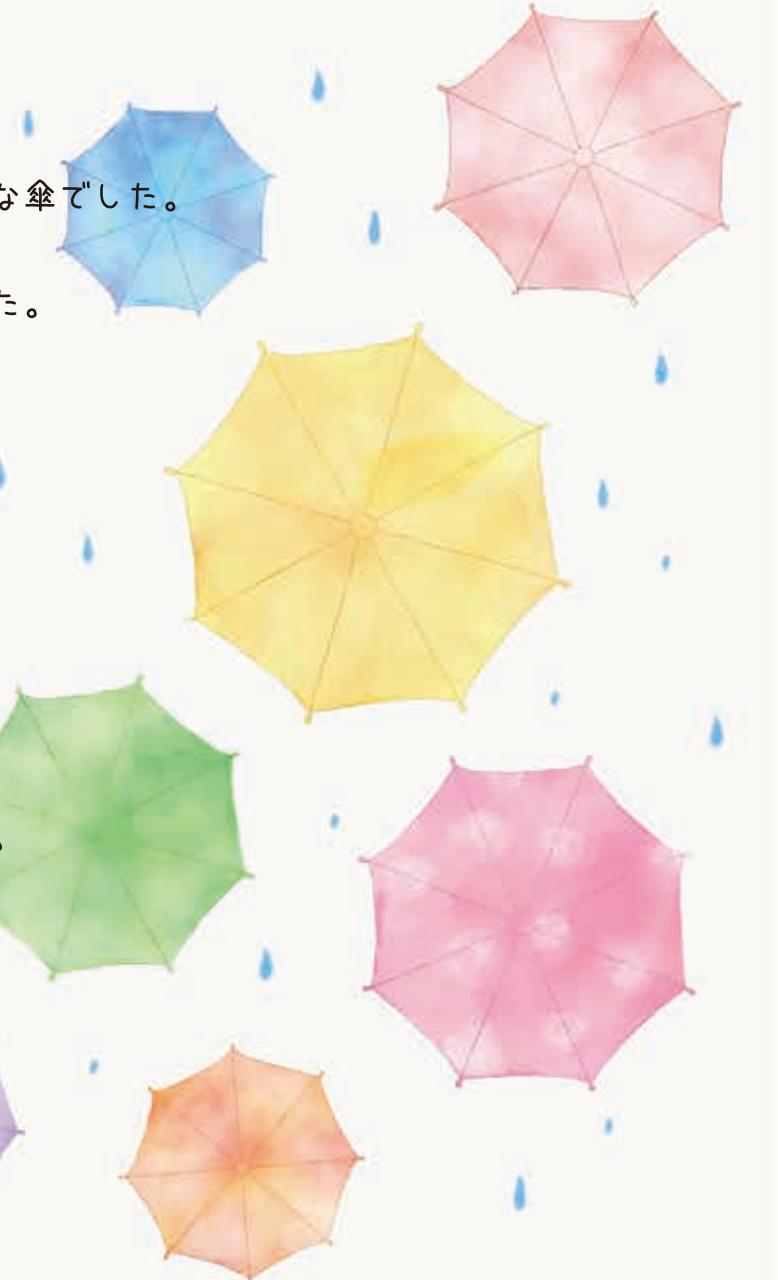
重ねた瞬間の中に見つけた未来への決意は、私たちの約束です。

五つの物語に込めて、「愛する子ども達のために」この約束を結びます。

*「私たちの約束」は当法人の10年後を見つめ、私たちが常に立ち返り確認し合う行動指針として、2021年に作成しました。

坂道の傘屋さん

土砂降りの雨の日、坂道の店先で店主が選んでくれたのは丈夫そうな傘でした。
小雨の朝には明るい色の傘を、
晴れ間の見えた日には、透明で青空の見える傘が出迎えてくれました。
そして日傘がさしかけられたのは、太陽が眩しすぎる午後でした。
ある日、店主がこう言うのです。
「たまには、子ども達と色とりどりの傘を回して歩きましょうか。
色々な傘を持ち寄って、みんなで、歌って、踊ってみませんか？
ほら。まるでお花畠に見えるでしょう。
でも、もし一人になりたい時には大きな大きな傘もあります。
すっぽりと、隠れてみても良いですよ。」
思い出すとそこにはいつも、私にぴったりの傘がありました。
あの日私は思ったのです。
もしも私に傘がいらなくなったら、この傘をさしかけてあげよう。
あした、あの坂を、登ってくる誰かのために。



「そばにいる約束」

少しでもあなたに合った支援を、
あなたと一緒に見つけます
日常の声かけを大切に、ひとりじゃないことを伝えます
次の一步を踏み出す時まで、どんな気持ちも受け止めます





緑の岬の小さな灯台

灯台は夜の海を照らして、小舟の航路をみちびきます。
波の高い日が続いても、小島にたどり着いて櫓（ろ）を休めることができます。

月のない夜にわずかな手がかりになるように。
遠くの国へ行く時は、友の灯台へと光をつなぎ、舟が迷子にならぬよう。

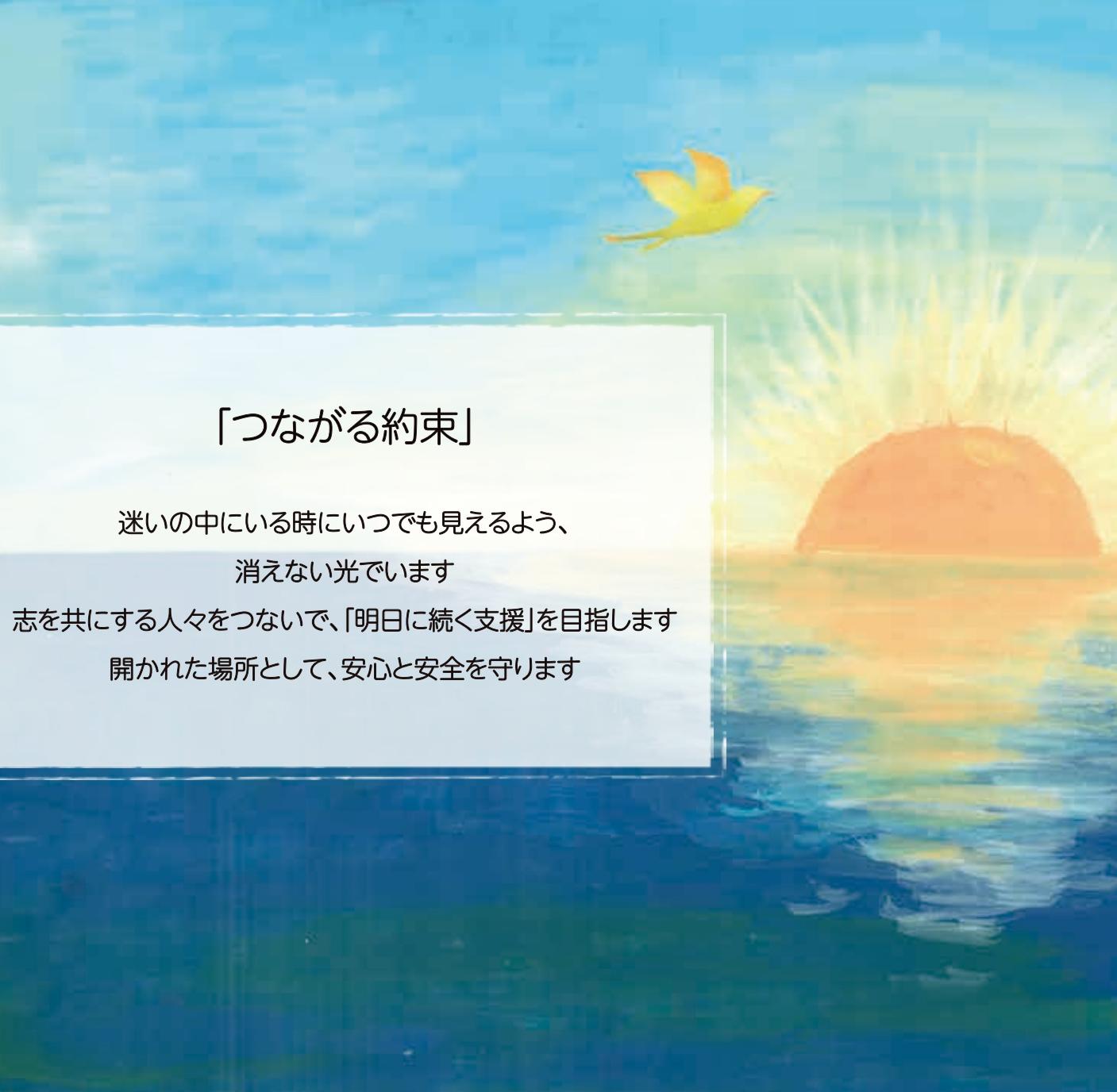
霧の日には霧笛（むてき）を鳴らして呼びかけます。「私はここにいますよ。」

灯台は小さいけれど、この灯りを消さぬよう、たくさんの人々が守っています。

レンズを磨き、歯車に油を注ぎ、岬に花を植えて。

そして朝が来たら、灯台守は手を振って沖へ出て行く小舟達を見送ります。

さて、今日はよく晴れたから、子ども達もここへ来るでしょう。
舟が無事戻るよう、一緒に祈りながら、緑の岬で待っています。



「つながる約束」

迷いの中にいる時にいつでも見えるよう、
消えない光でいます

志を共にする人々をつないで、「明日に続く支援」を目指します
開かれた場所として、安心と安全を守ります

ようこそ「スマイル荘」へ

おしゃれなアパートではないけれど、あなたに合う部屋がきっとあります。
だれかと話したい時は「おしゃべりの部屋」へ。
何か困った時は答えが見つかるかもしれない「知恵袋の部屋」へ。
もしも一人になりたい時は「あなただけの部屋」へどうぞ。
中庭には子ども達がいて、いつも誰かが見守っています。
たくさんの人々がこのアパートを支えています。
願いをキルトの針に込めるひと。
歌声や楽器の調べをとどけるひと。
お部屋をピカピカに磨く人ひと。
ただ、そばに居てくれるひと。
そして遠い街にも、思いを寄せる人たちがいます。
あなたがここに居るかぎり、門灯を消すことはありませんから。
ここにいるあなたと、ここに集った人々が、繋がって繋がって大きな輪になって、
このアパートを何重にも囲んでくれたら、それは素敵なお夢だなあ。



「つつみこむ約束」

子どもたちをまんなかに、365日、
途切れぬ支援を続けます

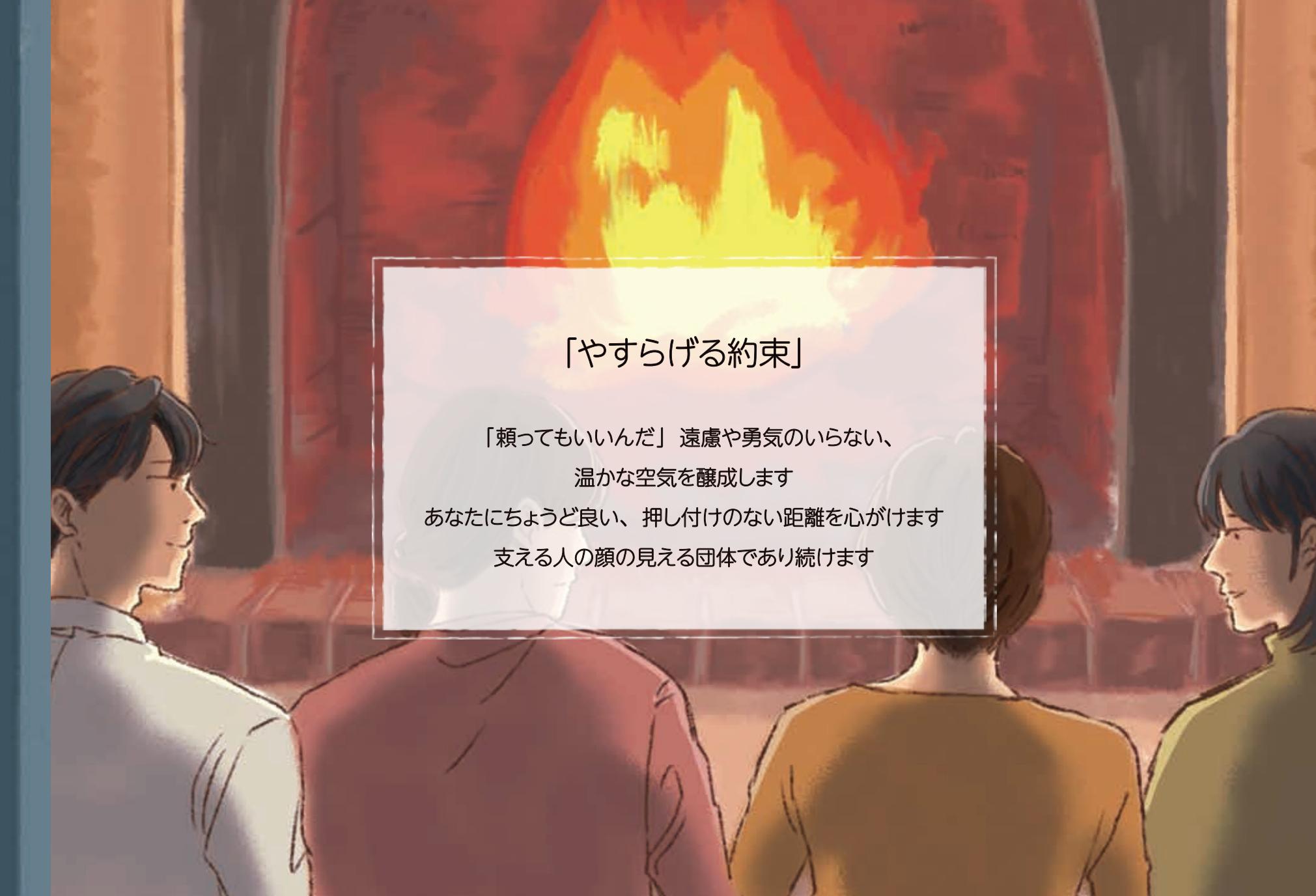
遠くからも近くからも、たくさんの力を集めて見守ります
多彩な専門性でほっとするくつろぎの時間を生み出します



冬の夜の暖炉

私は寒い冬の街を歩いている。
一軒の家の部屋がほのかに明るく、
覗くと暖炉にオレンジの炎が揺らいでいる。
暖かい空気が私の体にも届くような気がする。
楽しい笑い声が聞こえてくるような気がする。
火を絶やさぬように、薪をくべている人がいる。
隣の部屋で、今日の眠りの用意をしている。

その時、玄関の扉が開いて、見しらぬ人が私に言う。
「どうぞお入りなさい。あなたのためのお茶とベッドがありますから。」
私は暖炉のかたわらに招かれて、皆に挨拶する。
皆の頬がオレンジに染まり、私もその一人になる。



「やすらげる約束」

「頼ってもいいんだ」遠慮や勇気のいらない、
温かな空気を醸成します
あなたにちょうど良い、押し付けのない距離を心がけます
支える人の顔の見える団体であり続けます

おおきな“にれの木”

雨の日には雨宿りができ、
大風の日には葉を鳴らして、枝の生き物を守ります。
夏の強い日差しを和らげ、暑い空気を冷やします。
秋には美味しい実をつけて、やってくるもの達にふるまいます。
鳥のさえずりのように、いつも誰かが歌っています。
そして幹に抱きつけば、不思議な“氣”をもらえます。
この木に集うもの達は、みな仲間。
皆でこの木を育てます。
この木の下にいれば誰もが安心。
木は動くことができませんから、いつも同じ場所にいます。
そして、あなたがどこにいても、きっと見つけられるように
枝を大きく広げて、ここであなたを思っています。

「ここにいる約束」

再び助けが必要になんでも、変わらずにここにいます
仲間と気持ちを揃えて、あなたに“ちから”を注ぎます
あなたにとっても、私たちにとっても、
「育ちの場」でありつづけます





認定NPO法人スマイルオブキッズ

制作協力：総合学園ヒューマンアカデミー横浜校

ビジネスカレッジ ビジネスデザイン専攻 (Special Thanks 卒業生：松村 あゆみ)

発行日： 2021年7月1日

発行者： 認定NPO法人スマイルオブキッズ

〒232-0066 横浜市南区六ツ川四丁目 1124-2

TEL 045-824-6014

<https://www.smileofkids.jp/>

<https://www.smileofkids.jp/>